



今月の言葉

自分のもつ能力を世の中の
ために生かそう
※マイत्री・慈の五修より。マイत्रीは
サンスクリット語で「慈悲」の慈を意味します。
人々をいつくしむ、思いやりの心です。

七月(文月) 皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。

今年も後半のスタート。スタッフも元気に仕事に取り組んでいます。初夏と言えば「蓮の花」泥沼の中で咲く清らかな花。気品のある香りに癒されます。表紙の蓮は、孝道山内で咲いている蓮の花です。

7月3日に第15回知って安心セミナー「元気なお口でイキイキ暮らそう」、Zoomで開催できました。当日オンライン参加と事後ビデオ配信希望者を合わせて82名の参加を頂きました。横浜をはじめ日本各地、アメリカボストンからの参加もあり、つながりが広がりました。お口のケアポイント、毎日の歯ブラシを実践し、元気な身体を保ちましょう。

今後ともご支援、ご協力よろしくお願ひします。

地域とのつながり・施設紹介⑤ 町のほっと情報をお伝えします



今回は横浜市青葉区にある特定非営利法人「グループたすけあい」をご紹介します。1985年(昭和60年)4月に地域福祉団体として在宅福祉活動を設立。

今年で、満36年の活動となりました。活動の原点である『3つの合い言葉』として「おしきせでない・ほどこしでない・金もうけでない」と『4つの目標』1、相互扶助

を基本にすえた地域福祉の実践 2、高齢になっても生きがいのある働く場 3、豊かな人生のための生涯学習 4、住み良い地域社会を創るための問題提起を大切に地域住民による「お互い様の対等な福祉」を目指して長年着実に成長してきた団体です。1999年には特定非営利活動法人の認可、2000年には介護保険指定事業所。現在は訪問介護、ケアマネジャー、障がい者福祉サービス、横浜市介護予防・日常生活支援総合事業、設立当時からのたすけあいケアを継続しています。グループたすけあい清水雅子理事長との出会い、ご縁を頂いてから10年が経過しました。現在、コロナ禍でなかなかお会いする事が出来ず残念でしたが、先日久しぶりに、電話でお互いの近況・活動報告、月刊誌、会報誌の話題などお話しさせて頂きました。「何事も継続は力」、「毎月ほっとライン、素敵なメッセージをありがとう」と励ましの言葉を頂きました。いつも変わらぬ温かいご配慮に心から感謝です。

今後も「グループたすけあい」とのつながりを大切に、あたたかい人間関係、お互いの助け合い、安心して暮らせる町づくりを地域の仲間として育んでいきたいと思ひます。



特定非営利活動法人 グループたすけあい 横浜市青葉区市ケ尾町 1062-5-302 045-971-3317

読者コーナー



絵手紙 福澤早苗様

譲り合う
人のこころで
暖まる

川柳 S・M様



手作り中華お菓子
あずきクッキー 秦雨欣様

